

入江あき子の県議会報告

発行 県議会議員 入江あき子
電話 043-462-0618 FAX 043-489-0797
ブログ (入江あき子の県議会報告)

〒285-0837 佐倉市王子台 3-5-13
E-mail news@sakura-siminnet.com
http://sakuraakiko201104.blog.fc2.com/



議会が終わりました (9/14~10/11)

9月県議会では代表質問に登壇し、医療、環境、福祉、教育等、幅広いテーマを取り上げました。また、10月22日には、第48回衆議院選挙が終了。市民ネットワークは、平和で民主的な社会の礎である現憲法を守り活かす立場から、平和リベラル勢力の結集を支持し、立憲民主党の候補者を応援しました。

9/25 (月) 代表質問しました!

2018年4月~国民健康保険が広域化 どうなる?佐倉市の保険料

来年4月から国民健康保険の広域化(都道府県単位化)が始まります。これまで市町村国保は、高齢者が多く医療費水準が高い、所得水準が低く保険料負担が重いなど、構造的な問題を抱え、赤字財政に悩まされてきました。そこで、国は都道府県に財政運営の責任を担わせ、医療費削減を進めようとしています。

当初、全国知事会は「赤字解消が広域化の前提条件。国から1兆円の財政支援がなければ応じられない」と主張してきました。しかし、国はわずか3,400億円の投入で見切り発車。

加入者一人当たり	市町村国保	協会けんぽ	組合健保	共済組合
平均所得	86万円	142万円	207万円	230万円
平均保険料	8.5万円	10.7万円	11.8万円	13.9万円
保険料負担率	9.9%	7.5%	5.7%	6.0%



千葉県の2015年度の状況は、54市町村のうち33団体が単年度収支で赤字、26団体が赤字補填として合計約152億円の「法定外繰入」を実施。また、滞納世帯は加入世帯の約25%(約24万世帯)を占め、そのうちの約36%(約8万6千世帯)が正規の被保険証を使えない状況です。

9月8日、県は市町村ごとに割り当てる県への納付金や標準保険料率について、第3回試算結果を公表。あくまでも暫定値ですが、保険料が増加するのは16団体、減少は38団体となり、都市部で値上がりする傾向です。年明け頃までにどのような激変緩和策をとるのか、協議が続けられる見通しです。(下表参照)

- 国保は、「国民皆保険」の根幹となるものです。県当局に以下、求めました。
- ①国の言うなりに市町村を医療費削減レースに駆り立て、無理な保険料の取り立てを行わせないこと。
 - ②法定外繰入をはじめ市町村の政策判断を尊重すること。
 - ③国に十分な財源負担を求めること。

第3回標準保険料(税)の試算

1人当たり	県平均	佐倉市	佐倉市 激変緩和のパターン		
			A	B	C
2015年度	104,967円	95,188円			
2017年度	103,955円	100,322円	96,192円	95,788円	96,110円
差	1,012円↓ 1.0%	5,144円↑ 5.4%	1,004円(1.1%)↑	600円(0.6%)↑	922円(1.0%)↑

※2017年度に広域化されたものとして試算

再生土埋立で悪臭・汚染水が発生 佐倉市神門地区

昨年7月頃、神門地区の再生土埋立地周辺から異臭が発生し、隣接地に黒く濁った油のような汚水が浸みだしました。近隣住民は尿臭のような悪臭に苦しめられ、窓も開けられません。地下水汚染や健康被害の不安も大きくなっています。

この間、佐倉市は地元の切実な声に応じて、埋立周辺の土壌や汚水の検査、排水処理等を実施してきました。一方、県はようやく9月に埋立表面から1m下の土壌分析に着手。しかし、これでは不十分です。廃棄物混入の疑いもあり、問題が起こっている箇所の土壌や水質の詳細なボーリング調査を行うべきです。

再生土は、建設汚泥等を中間処理施設で加工したりリサイクル資材で、埋立の法的規制はありません。昨年9月、県は再生土埋立の行政指針を策定しましたが、指導に従わない事業者が各地で問題を起こしています。今議会で神門の事例を取り上げ、規制強化を求めたところ、「条例による規制について検討しており、早急に対応したい」と副知事から前向きな答弁がありました。引き続き県に早急な原因究明を求め、一日も早く元の生活環境を取り戻せるよう働きかけていきます。



雇用状況は良くなったのか?

10/3 商工労働企業常任委員会で発言

入江：昨年9月「ちば働き方改革共同宣言」後の取り組みについて伺う。県内の正規、非正規労働者の状況はどうか?
 県：直近のデータでは、正規16万8600人。非正規は107万2700人(39.4%)でここ10年ぐらいい増加傾向にある。
 入江：正社員化に向けてどのように取り組んでいるのか?
 県：昨年度の実績として、県「ジョブカフェちば」での正規の就職者数は、2002人。千葉労働局による企業助成金制度では、1778人が正社員になった。
 入江：不本意の非正規雇用をなくすための支援、県内経済団体等への働きかけに一層力を入れてほしい。

入江の代表質問

- 県の「仕事改革・働き方改革」について
 - 子どもの貧困(母子家庭の住宅支援/児童養護施設退所後の支援/高校の給付型奨学金導入)
 - 木更津駐屯地へのオスプレイ暫定配備
 - 再生土埋立問題 ●医療・介護の連携/地域包括ケア
 - 国際医療福祉大学附属病院の影響
 - 県立病院(がんセンター・循環器病センター)
 - 国保の広域化 ●治水政策
 - ウナギの生息地保全 ●県立図書館の在り方
 - スクールソーシャルワーカーの配置 ●高齢者の交通安全対策
- 詳細は、入江あき子のHPで

まずは現場へ! 当事者の声を政策につなげます

11月中に改良工事の予定です



10/1 歩道の根上がり危険箇所調査(白銀団地の下)



8/28 成田赤十字病院備蓄倉庫にて災害医療を学ぶ



8/9 県立鳥取図書館を視察